

参考資料・リリース日本語訳]

2004年1月26日

報道関係各位

ノバルティス ファーマ株式会社

- ノバルティス2003年業績発表 -
売り上げ、営業利益とも継続的に2桁成長を達成、
成長率において、世界の製薬企業トップ10社*をリード

- 第4四半期において成長が加速され、引き続き2桁の伸びを達成。グループ全体の2003年売り上げは19%増、そのうち医薬品部門は18%増、コンシューマーヘルス部門はサンド社(ジェネリック)の60%増が牽引して24%増。
- マーケットシェアは医薬品業界世界第5位に上昇*。
- 2003年営業利益は、販売量の増大、製品構成の改善ならびに生産性向上により、2桁成長の16%増を達成。
- 純利益は50億ドル(約5,770億円)を達成し6%増の新記録、1株あたり利益を8%増大。
- フリーキャッシュフローは23%増の36億ドル(約4,170億円)。配当は5%増を予定。

* 2002/3年1-11月IMSヘルスケアデータ(17カ国)による。
成長率算出ベースは米ドルによる。解説は2003年1-12月の合計数に対するもの。

2003年度

	2003年度			2002年度			前年比(%)	
	百万ドル	億円	対売上%	百万ドル	億円	対売上%	ドルベース	現地通貨ベース
グループ全体の売上	24 864	28 594		20 877	24 009		19	11
医薬品	16 020	18 423		13 528	15 557		18	11
コンシューマーヘルス	8 844	10 171		7 140 ¹	8 211		24	16
営業利益	5 889	6 772	23.7	5 092	5 856	24.4	16	
純利益	5 016	5 768	20.2	4 725	5 434	22.6	6	
フリーキャッシュフロー	3 628	4 172		2 958	3 402		23	
1株あたり利益/ADS(米ドル/円)	USD 2.03	233円		USD 1.88	216円		8	

¹分離した事業を除く継続するビジネスの2002年の売り上げは2億900万ドル。

換算レート：2003年 1米ドル=115円、2002年 1米ドル=115円

本リリースで用いられている日本円表示の金額は、すべて便宜的に2003年、2002年ともに1米ドル=115円の為替レート(2003年の平均値)で米ドルを日本円に換算したものである。

2003年度第4四半期 (10-12月)

	2003年度第4四半期			2002年度第4四半期			前年比 (%)	
	百万 ドル	億円	対売上%	百万 ドル	億円	対売上%	ドルベース	現地通貨 ベース
グループ全体の売上	6 730	7 740		5 569	6 404		21	12
医薬品	4 379	5 036		3 632	4 177		21	12
コンシューマーヘルス	2 351	2 704		1 895 ²	2 179		24	15
営業利益	1 606	1 847	23.9	1 354	1 557	24.3	19	
純利益	1 360	1 564	20.2	1 187	1 365	21.3	15	
フリーキャッシュフロー	1 444	1 661		1 634	1 879		-12	

²分離した事業を除く継続するビジネスの2002年の第4四半期の売り上げは4,200万ドル。

パーゼル発、2004年1月22日：ノバルティスの会長兼CEOのダニエル・バセラは、2003年度業績について次のように述べています。「2003年の売り上げはダイナミックに増大し、8年間のノバルティス史上8回目の新記録を達成しました。革新性をキーワードにした経営資源集中戦略が功を奏し、すべての事業分野でマーケットシェアが拡大しました。医薬品事業では世界第5位にランクアップしました。研究開発への投資を32%増大させ、ノバルティス バイオメディカル研究所を設立、研究開発事業は予定どおり進捗しています。その結果、医薬品の開発パイプラインは臨床開発および承認申請の段階にあるものが79件に達しており、将来に向けて引き続き成長が期待できます。また、コンシューマーヘルス部門のジェネリック ビジネスユニットであるサンド社は、60%増という目覚ましい成長率を達成しました。このように医薬品部門およびジェネリック ビジネスユニットが相まって大きな成長を遂げたことにより、ノバルティスは患者さんに、より効果の高い、革新的な医薬品を提供するとともに、高品質のジェネリック薬を廉価で提供できるというユニークなポジションを獲得し、世界の製薬企業として市場をリードしました」

売り上げ

グループ全体の売り上げは19%増の249億ドルを達成

グループ全体の売り上げは通年で米ドルベースで19%増、現地通貨ベースで11%増となり、第4四半期は米ドルベースで21%増を記録しました。2003年の売上増8%は、販売量の増大によるもので、一方、買収したビジネスの寄与率は2%、価格上昇の貢献は1%でした。現地通貨ベースから米ドルベースへのレート換算による影響は、売り上げの8%増に貢献しました。

2003年のグループの売り上げを牽引したのは、医薬品部門とコンシューマーヘルス部門のサンド社（ジェネリック）でした。また、全体では製薬事業¹⁾合わせて22%の売り上げ増を達成し、全収入の86%を占めました。

¹⁾ 医療用医薬品、ジェネリック（サンド社）、OTC、動物薬（アニマルヘルス）

医薬品部門の売り上げは18%増の160億ドルを達成

中核となる医薬品事業の2003年売り上げは業界の平均成長率²⁾を上回る18%増（現地通貨ベース：11%増）で、第4四半期の売り上げの成長率は前年同期比21%増（現地通貨ベース：12%増）でした。

²⁾ 2002/3年1-11月IMSデータによると、世界のヘルスケア市場の成長率は約9%、一方ノバルティスのヘルスケアは17%

2003年、ノバルティスは主要市場である米国でさらにシェアを獲得し、売り上げは15%

増（現地通貨ベース）、米国のヘルスケア企業におけるランキングを2つ上げました。ヨーロッパの売り上げ増（現地通貨ベース：6%増）も加わり、IMS統計によるとノバルティスは、世界の製薬企業トップ10社のなかで最も急速な成長を遂げつつある企業となり、世界市場のシェアは4.38%で、世界ランク5位の地位を獲得しました。

循環器領域（36%増、現地通貨ベース：29%増）とオンコロジー領域（36%増、現地通貨ベース：26%増）は引き続き年間を通じて好業績を牽引しました。特に、ディオバン、グリベック、ゾメタ、ロトレル、レスコールなどの主要製品の貢献が顕著で、エリデル、ゼルノーム/ゼルマックを含む新たに上市された製品が売り上げを増大させました。

コンシューマーヘルス部門の売り上げは24%増の88億ドルを達成

コンシューマーヘルス部門の継続ビジネスの売り上げは、すべての事業で市場平均を上回る業績を記録して堅実な成長を達成、24%増（現地通貨ベース：16%増）となりました。最も高い伸び率を記録したのはサンド社（ジェネリック）で、それに他事業の年間を通じた好業績が貢献、特に、OTC（一般薬）、チバビジョン、医療用栄養食品の売り上げは、米ドルベースで2桁の伸びとなりました。第4四半期のダイナミックな売り上げ増を牽引したのはOTC、チバビジョン、サンド社（ジェネリック）で、それぞれ米ドルベースで20%以上の成長率を達成しました。

サンド社の年間売り上げ60%増（現地通貨ベース：47%増）を牽引したのは米国の医薬品小売事業とレック社統合の成功で、年間売上増の38%、第4四半期売上増の37%に貢献しました。サンド社の第4四半期の売り上げは、Augmentin^{®3}のジェネリック薬であるAmoxCの市場競争がことのほか激しかったにもかかわらず、前年同期比は米ドルで43%増（現地通貨ベース31%増）の好業績を収めました。第4四半期には、スペインのアミファルマ社の買収もあり、抗生物質の自社生産能力および技術力が強化されました。

³⁾ Augmentin[®]は、グラクソ・スミスクラインのトレードマークです。

その他の事業のハイライトとしては、OTC（一般薬）の年間売り上げが米国でのロラタジンの顕著な売り上げ増と、中核となる戦略ブランドの好業績、咳・風邪治療薬の売り上げが第4四半期に大きく増大したことなどがあげられます。

医薬品部門および製品別のハイライト

プライマリーケア

高血圧症治療薬 **ディオバン**（46%増、現地通貨ベース：38%増、米国：42%増）は、3月アンジオテンシン受容体ブロッカー（ARB）の世界的リーダーとなり、競合からのシェア獲得を引き続き拡大しています。心不全治療薬としての追加適応を、世界40カ国で承認された旗艦ブランドとも言えるディオバンは、ARBセグメントの急速な拡大をさらに上回る勢いで成長しつつあり、米国の売り上げだけでも12月現在で10億ドルを超えています。

第4四半期には、米国心臓学会で大規模臨床試験VALIANTの結果が発表されました。その試験結果は、ディオバンが心筋梗塞後患者の死亡率を25%軽減する可能性があることを示唆するもので、ディオバンは心筋梗塞後患者の死亡率を改善するARBとして最初で唯一の治療薬です。この結果に基づき、米国では新しい適応についての承認申請が提出されています。

高血圧症治療薬 **ロディオバン**は、米国のARBとの合剤のセグメント（単独および併用療

法)において、最も多く処方される製品となりました。この急速な成長は、新用量剤の上市と新しい治療のガイドラインに牽引されました。ドイツでは、コディオバンの高用量剤(160/12.5mg)の成功により、本セグメントでNo.1の地位を獲得しました。

高血圧症の併用療法剤としてリーディングポジションを占めるロトレル(米国:20%増)は、年間を通じて強力な成長を遂げましたが、第4四半期の売り上げは、8月にスタートしたこの病気に関する啓発活動が功を奏して飛躍的に伸びました。全体的にロトレルは、より積極的な治療を推奨する新しいガイドライン、ACE阻害剤やカルシウム拮抗剤では血圧がコントロールできない患者さんへの新たなフォーカス、薬効が高く柔軟性のある服用を可能にする新しい用量(10/20mg)の上市成功などの要素により、確実にこのセグメントでのマーケットシェアを伸ばしています。

高コレステロール血症治療薬「レスコール/ローコール」(27%増、現地通貨ベース:18%増、米国:19%増)は、ハイリスク患者における有用性が証明され、フランス、イタリア、スペインにおける徐放性剤の市場展開の成功、および米国における冠動脈イベントの二次予防に対する追加適応が承認されたことによって、売り上げ成長が加速されました。

非ステロイド性湿疹治療薬「エリデル」(147%増、現地通貨144%増、米国125%増)は、米国を中心に2億3,500万ドルの年間売り上げを達成しました。エリデルは、上市後2年足らずで湿疹治療の処方薬としてNo.1ブランドのポジションを獲得し、すでに世界38カ国以上で販売されています。

便秘型の過敏性腸症候群治療薬「ゼルノーム/ゼルマック」の売り上げは、この疾患の治療における有用性と疾患に対する認知度の向上を反映して、1億6,500万ドル(米国:1億3,200万ドル)を超えました。米国でのトータル処方方は新規処方同様、第4四半期で32%増を記録しました。ゼルノーム/ゼルマックはすでに世界39カ国で販売されており、第4四半期には米国で慢性便秘薬としての追加適応が承認申請されました。

オンコロジー

慢性骨髄性白血病(CML)と消化管間質腫瘍(GIST)の治療薬「グリベック」(84%増、現地通貨ベース:68%増、米国:41%増)は、CMLの初発患者に対する第一選択薬として用いられ、また米国、ヨーロッパ、日本におけるGISTの追加適応も取得したことによって、引き続きダイナミックな成長を達成しました。経済的に支援なしには治療を受けられないCML患者さんを対象とした、グリベック患者支援プログラムが適用されている患者さんの数は、全世界で8,000人以上に達しました。

悪性腫瘍骨転移に伴う骨合併症の治療薬「リメタ」(83%増、現地通貨ベース:74%増、米国:59%増)は、悪性腫瘍の骨転移治療のために最も多く処方されるビスフォスフォネート注射剤で、引き続きダイナミックな成長を達成し、2004年に大型製品となることが期待されます。EUおよびその他の国における悪性腫瘍の骨転移の保険適用が成長をさらに加速させ、また、肺がん、前立腺がん、多発性骨髄腫、乳がんなどを含むより多くの腫瘍への適応が拡大されたことも成長を押し上げました。

ホルモン過敏性の閉経後乳がん治療の第一選択薬「フェマーラ」の売り上げは、その強力なプロフィールと、第4四半期に発表された継続の術後補助療法試験MA-17の画期的な結果にサポートされ、30%増(現地通貨ベース:18%増、米国:22%増)を達成しました。この臨床試験では、5年間にわたってタモキシフェンによる術後補助療法を受けた、閉経

後早期乳がんの患者さんを対象に実施され、乳がん再発のリスクが43%低下したのみならず、無病生存率を大幅に改善することが明らかになりました。

上記の発表には、現時点での将来への予想と期待が一部含まれております。従って、その内容に関しては、また将来の結果については、不確実な要素や予見できないリスクなどにより、将来の結果が現在の予想と異なる可能性があることをご了解ください。なお、詳細につきましては、ノバルティスが米国証券取引委員会に届けておりますForm 20-Fをご参照ください。

ノバルティスは、医薬品とコンシューマーヘルスにおける世界的リーダーです。ノバルティス グループ全体の2003年度の売り上げは249億ドル(約2兆8,600億円)で、純利益は50億ドル(約5,770億円)、研究開発への投資は約38億ドル(約4,370億円)でした。スイス・バーゼル市に本拠を置くノバルティスは、約78,500人の社員を擁しており、世界140カ国以上で製品が販売されています。詳細はインターネットをご覧ください <http://www.novartis.com>

今後の業績および事業発表予定

2004年2月24日
2004年4月22日
2004年7月20日
2004年10月21日
2005年1月

年次株主総会
第1四半期業績発表
上半期および第2四半期業績発表
9ヵ月および第3四半期業績発表
2004年業績発表

ビジネスユニット別売り上げ

2003年度

	2003年度		2002年度		増減	
	百万 ドル	億円	百万 ドル	億円	ドルベース (%)	現地通貨 ベース (%)
医薬品	16 020	18 423	13 528	15 557	18	11
コンシューマーヘルス	8 844	10 171	7 349	8 451	20	12
サンド(ジェネリック)	2 906	3 342	1 817	2 090	60	47
OTC	1 772	2 038	1 521	1 750	17	7
アニマルヘルス	682	784	623	716	9	3
医療用栄養食品	815	937	711	818	15	3
乳幼児用栄養食品	1 361	1 565	1 333	1 533	2	3
チバビジョン	1 308	1 504	1 135	1 305	15	7
コンシューマーヘルス(継続)	8 844	10 171	7 140	8 211	24	16
健康機能性食品(分離)			209	240		
合計	24 864	28 594	20 877	24 009	19	11

2003年度第4四半期(10-12月)未監査

	2003年度第4四半期		2002年度第4四半期		増減	
	百万 ドル	億円	百万 ドル	億円	ドルベース (%)	現地通貨 ベース (%)
医薬品	4 379	5 036	3 632	4 177	21	12
コンシューマーヘルス	2 351	2 704	1 937	2 228	21	13
サンド(ジェネリック)	768	883	537	618	43	31
OTC	499	574	413	475	21	11
アニマルヘルス	180	207	153	176	18	9
医療用栄養食品	208	239	174	200	20	8
乳幼児用栄養食品	348	400	330	380	5	6
チバビジョン	348	400	288	331	21	11
コンシューマーヘルス(継続)	2 351	2 704	1 895	2 179	24	15
健康機能性食品(分離)			42	48		
合計	6 730	7 740	5 569	6 404	21	12

2003年度売り上げトップ20製品 (未監査)

製品名	適応	百万 ドル	億円	前年比% ドルベース	前年比% 現地通貨ベース
ディオバン/コディオバン	高血圧症	2 425	2 789	46	38
グリベック	慢性骨髄性白血病	1 128	1 297	84	68
ネオラル/サンディミュン	移植	1 020	1 173	-2	-10
ラミシール(グループ)	真菌症	978	1 125	12	5
ゾメタ	悪性腫瘍による骨合併症	892	1 026	83	74
ロトレル	高血圧症	777	894	20	20
レスコール/ローコール	高コレステロール血症	734	844	27	18
サンドスタチン(グループ)	末端肥大症	695	799	14	7
ボルタレン(グループ)	炎症/疼痛	599	689	1	-6
チバセン/ロテンシン	高血圧症	433	498	-6	-9
トップ10 製品トータル		9 681	11 133	28	20
トリレプタール	てんかん	397	457	42	39
ミアカルシック	骨粗しょう症	389	447	-1	-6
テグレトール	てんかん	384	442	5	0
エクセロン	アルツハイマー病	367	422	21	13
ビスダイン	加齢黄斑変性	357	411	24	16
レボネックス /クロザリル	治療抵抗性の統合失調症	309	355	-4	-12
フォラジール	ぜん息	289	332	10	-4
エリデル	湿疹	235	270	147	144
ファンビル	抗ウイルス剤	233	268	5	0
ホルモン置換療法シリーズ	ホルモン置換	231	266	-11	-16
トップ20 製品トータル		12 872	14 803	24	17
その他の製品		3 148	3 620	-1	-9
全製品トータル		16 020	18 423	18	11

2002年度の業績は、一部製品の他セクターへの移管の売り上げに基づいて集計し直した。
本リリースで用いられている日本円表示の金額は、すべて便宜的に1ドル=115 円の為替レートで米ドルを日本円に換算したものである。